

歴史的環境の保全を考える

担当教員名 根崎 光男

1 コースの概要

日 程	2014年6月29日、9月4日～6日
場 所	埼玉県川越市、神奈川県小田原市・箱根町
参加人数	21名

2 コースの目的

先人の営みが刻まれた史跡や遺物、伝統的建造物群、景観などは、有限の歴史資源であるが、現代社会の利便性や効率性の追求、そして人々の生活様式の変化によって、その保全が危機に瀕している。そこで、各地域の歴史的環境保全への取り組みを実際に見学し、その現状と課題を学習する。

今回は、小江戸と呼ばれて蔵造りの町並み（伝統的建造物群）や本丸御殿が残る埼玉県川越市と、江戸時代に新田開発されてその景観を残している見沼田んぼを擁する埼玉県さいたま市、そして小田原城などの国指定史跡がある旧城下町としての神奈川県小田原市、さらに旧東海道の石畳や杉並木、復元された関所などが残る旧宿場・温泉町としての神奈川県箱根町を訪ね、各自治体の歴史的環境保全の取り組みを考える。

3 事前学習

事前学習は、6月7日（土）4時限目、6月21日（土）4時限目の2回実施した。

1回目は、当フィールドスタディの目的や巡回コースの説明を行い、厳守事項について確認した。また、



川越のシンボル「時の鐘」前で

2回目の事前学習で歴史的環境の保全について意見交換するための前提となる、各自治体の歴史的環境保全の取り組みをレポートにまとめてもらうための説明を行った。

2回目は、参加者から各自治体の歴史的環境保全の取り組みを発表してもらい、地域がかかえる課題や問題点を共有し、その解決のためにどのような方策が必要かなどの議論を行った。参加者が住む自治体の文化財保護の現状と課題についての発表が中心であったが、京都や近江八幡などの歴史的環境保全の先進地域の取り組みについての報告もあった。

4 行程

1日目

日帰りコースは、午前中に東武東上線川越市駅に集合、貸切バスで移動して蔵造りの町並みと川越のシンボルである「時の鐘」を散策したあと、川越城本丸御殿を見学した。午後、貸切バスでさいたま市に移動、江戸時代に開発された見沼田んぼの通船堀周辺を散策し、浦和くらしの博物館では職員の方からこの地域の先人の暮らしについての説明を受け、そのあと雷雨に見舞われたため、江戸時代の名残りをとどめる浦和西高校斜面林を車中から見学した。

2日目

ここからが神奈川県を中心に、静岡県の一部を含む2泊3日のコースである。1日目はJR小田原駅集合、徒歩で国史跡・小田原城を訪ね、現在進められている城址の発掘作業を見学したのち、城内の資料館を観覧、その後報徳二宮神社や城址公園などを散策した。発掘作業の地道な作業が、歴史的環境保全に欠かせないことを確認。このあと、箱根登山鉄道で小田原駅から箱根湯本駅に向かい、宿泊先に到着した。

3日目

午前中に箱根町立郷土資料館に行き、館長の鈴木康弘氏より「箱根町の文化財保護の現状と課題」と題したレクチャーを受けた。箱根町には国指定の文化財もあ



小田原城址を歩く



箱根・旧東海道杉並木を歩く



旧街道石畳を踏破して

り、文化庁などとの打ち合わせなどで多くの時間が割かれるほか、町の予算で文化財を保護することの難しさなどが語られた。午後、バスで元箱根に行き、小雨降るなか旧東海道の杉並木や石畳の保全状況を観察した。箱根関所を教員の説明で見学し、バスでこの日の宿泊先がある静岡県三島市に向かった。

4日目

午前に宿泊先から徒歩で三島大社に行き、参詣ののち宝物館や国指定天然記念物の金木犀を見学した。その後、バスで元箱根に戻り、海賊船・ロープウェー・ケーブルカーを乗り継いだ。この間、大涌谷を散策ののち箱根登山鉄道で強羅駅を出て、箱根湯本駅に到着。多くの観光客が訪れていたが、徐々にその数は減少しているという。前日、箱根町教育長から観光客誘致のためのアイデアを出してほしいと要請があったことの意味を再確認して解散した。

5 事後学習

事後学習は、9月20日（土）4時限目に実施した。今回のフィールドスタディで学んだことを総括した。



箱根町教育委員会で講義を受ける

このなかで、各自治体が文化財保護や歴史的環境保全の課題を数多く抱えながらも、現実問題として限られた予算により、その保全にも限界があるという難しさを課題としてあげ、そういった制約のなかでやることをやっているという現実があることも確認した。また、今回の課題を達成するためには、観光客のマナー啓蒙活動や市民・NPOなどとの協働の重要性についても意見交換した。そのほか、参加者から箱根町における歴史的環境保全のためのアイデアを発表してもらい、さまざまな意見が出された。

6 雑感

毎年のフィールドスタディで感じていることだが、晴天用のコースだけでなく、雨天用のコースを考へておくことがいかに重要であるかを改めて考えさせられた。今回も、1日目の終盤に雷雨に見舞われ、少しばかり予定通りにはいかなかったが、貸切バスを利用できたことで車中からコースを回ることができたことは幸いであった。また3日目も小雨に見舞われたが、4日目のコースに変更することで乗り切ることができた。

学生の声

散歩からの気づき



3年 水谷 美月

「歴史的環境の保全を考える」をテーマに小江戸と言われる川越、戦国時代関東支配の要であった小田原、そして現在までも温泉地として観光の名所となっている箱根に行ってきました。実際に街や博物館をみて回ることによって当時の様子や、現在の町との共存について考えることが出来ました。実際に、保全活動に携わっている方々のお話を聞いて、箱根町では保全をしつつ観光客を集めるためのアイデアをみんなで出しました。「環境を守る」「歴史を遺す」わたしは当たり前のことだと思っていました。しかし、お話を聴いたり、目の当たりにすることでそれは難しいことで、国や自治体はもちろん、そこに住む人々、観光客にいたるまで大勢の協力が必要なことなのだと思いました。そのためにはその歴史的環境の大切さや意義を多くの方に知ってもらい納得してもらうことが重要であることを学びました。とまあ勉強したことを書いてみましたが、いっぱい歩いて、遊んで、学んで、食べて！とにかくたのしい4日間でした。